

学校名	学年	教科
川越中学校	2年	数学

1. 学習のねらい等

学習のねらい	○文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりできるようになるとともに、連立方程式について理解し、それを用いることができるようになる。 ○具体的な事象を調べることを通して、1次関数について理解し、関数関係を見出し表現・考察する能力を養う。 ○基本的な平面図形の性質について理解を深めるとともに、数学的な推論の意義と方法を理解し、推論の過程を的確に進めることができるようにする。 ○具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方の基礎を身につけさせる。
使用教材	教科書 : 『未来へひろがる数学』(啓林館) 問題集 : 『完成問題集』(三泗数研) 『よくわかる数学の学習2』(明治図書) 『計算のトレーニング80』(浜島書店)

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①数学への関心・意欲・態度	数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	・授業中の学習活動への取り組み状況や毎時間の宿題への取り組み方 ・完成問題集や学校のプリントの取り組み状況 ・ノート提出時の取り組み状況
②数学的な見方・考え方	数学的活動を当して、数学的な見方考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考える。	・プリントなどの記述内容 ・定期テストや小テスト ・操作活動中の思考内容 ・問題集の中での誤答分析
③数学的な表現・処理	数量・図形などで数学的な表現処理する能力を身に着けている。	・定期テストや小テスト
④数量・図形などについての知識・理解	量・図形などについての基本的な概念や原理法則を理解し、知識を身につけている。	・定期テストや小テスト

3. 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	1章 式の計算 1. 式の計算 2. 文字式の利用	1. 数量の関係や数の性質を文字式を使って明らかにしていこうとす 2. 数量の関係や数の性質を文字で表して考察することができる。 3. 文字式の簡単な計算ができる。 4. 用語の意味を説明できる。
	2章 連立方程式 1. 連立方程式 2. 連立方程式の利用	1. 連立方程式を利用して、問題を解決しようとする。 2. 課題から連立方程式を導き、その解の意味を考察することができる。 3. 加減法や代入法によって、連立方程式をとくことができる。 4. 消去する、加減法・代入法の意味を理解している。
	3章 一次関数 1. 一次関数とグラフ 2. 一次関数と方程式 3. 一次関数の利用	1. 身のまわりの事象の中から、一次関数と見られるものを見つけよう 2. 変化の割合について理解することができる。 3. 一次関数のグラフを書くことができる。 4. 一次関数のグラフの傾きと切片の意味やグラフの特徴などを理解し
2 学期	4章 図形の調べ方 1. 平行と合同 2. 証明	1. 2つの三角形がどんな場合に合同になるかを考えられる。 2. 図形の性質を、すじ道を立てて説明することができる。 3. 基本的な角度の問題で答えを求めることができる。 4. 合同な図形の性質や三角形の合同条件について理解している。 5. 三角形の合同条件を使って、基本的な証明の問題ができる。
	5章 図形の性質と証明 1. 三角形 2. 四角形	1. 二等辺三角形・直角三角形の性質を理解して、それを使って問題が 2. 平行四辺形の定義から、三角形の合同条件などを用いて、平行四辺 導くことができる。 3. 平行線と面積の関係をj用いて、面積の等しい三角形を見つけること 4. 定義・定理・逆などの意味を理解している。
3 学期	6章 確率 1. 確率の意味 2. 場合の数と確率	1. 起こりえる場合を順序よく整理しようとする。 2. 場合の数を考えるときに、樹形図や表などを用いるよさに気づく。 3. 同様に確からしいときに、確率を求めることができる。 4. 確率の求め方・確率の意味について理解している。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	- 授業の中では「聞く時間」「書く時間」「考えを共有する時間」のメリハリをつけよう。 - 疑問に思ったことや、理解できなかったことは後回しにせず、その場で解決しよう。 - 公式は「丸暗記」せず、例題を用いた解き方で理解しよう。 - 自分が理解したことは、早く他の人と共有しよう。教えることでさらに理解は深まります。
	家 庭	- 授業で出た宿題は、次の授業で一人一人チェックをします。そのまま成績に反映していくのでしっかり取り組みましょう。 - 答えが合っていれば良いとせず、解き方や考え方を理解するまで繰り返して学習を進めましょ - う。 - 授業でやった内容を忘れてしまっでは次の授業で出遅れます。前回の復習＝次回の予習だと思ってやりましょう。